



静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成30年(2018年)
8月6日
月曜日
第202号

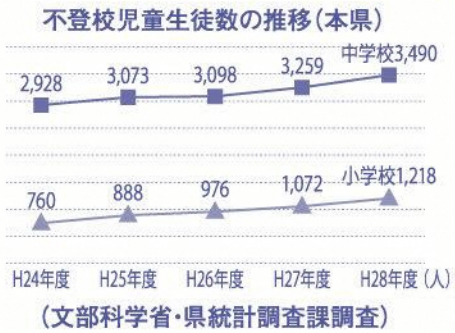
発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

『夢へはばたけ!ふじのくに若い翼プラン』始まりました!

「夢へはばたけ!ふじのくに若い翼プラン-第3期静岡県子ども・若者計画-」(以下、若い翼プラン)は、「子ども・若者が『有徳の人』として自立し、夢を実現できる地域をめざして」を基本理念とし、全ての子どもたちの成長と自立に向けた支援はもとより、「ニート、ひきこもり、不登校等の困難を有する子ども・若者やその家族への支援」を推進するところに特徴があります。前期計画を改定し、平成30年度から始まりました。計画期間は4年間です。

困難を有する子ども・若者の状況

- ・不登校は増加傾向。
- ・県内の15～39歳のひきこもりは、1.4万人と推計(平成27年)。不登校や就業の問題がひきこもりのきっかけになることが多い。
- ・県内公立高等学校の中途退学者数は677人(平成28年)。
- ・10代、20代、30代の死因の第1位は自殺。
- ・県内の児童虐待の相談件数は、平成28年は2,496件で、平成12年と比較するとおよそ5.6倍に増加。



ひきこもりの状態になったきっかけ (H28 内閣府調査)



困難を有する子ども・若者やその家族への支援 ～「若い翼プラン」の取り組み例～

◆「ふじのくにアイマップ」の配布 = 支援機関・団体の情報を提供!

ひきこもり、不登校等の悩みを抱える子ども・若者やその家族を支援する公的機関や民間団体を紹介したリーフレット「ふじのくにアイマップ」を各小・中・高校等に配布しているほか、県ホームページでもデータを公開。「ふじのくにアイマップ」で検索)



◆「合同相談会」の開催 = 支援機関・団体とつながる機会を創出!

ひきこもり、不登校等を支援する公的機関や民間団体が30程度集まり、個別に応じる相談会を開催。本相談会を通して支援機関・団体同士の理解の促進を図り、連携・支援ネットワークを強化。

平成30年度合同相談会開催日程

開催日時	会場
8月18日(土) 12:30～15:30	浜北文化センター (浜松市浜北区貴布祿291-1)
8月25日(土) 12:30～15:30	静岡市教育センター (静岡市葵区与一6丁目17-10)
9月8日(土) 13:00～15:30	富士市教育プラザ (富士市八代町1-1)
10月6日(土) 12:30～15:30	伊豆の国市大仁くぬぎ会館 (伊豆の国市大仁334) ※旧大仁高校

参加団体は県HPで公開。「静岡県合同相談会」で検索。

◆「高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)」の県内実施 = 挑戦しやすい環境を整備!

高卒認定試験は、高等学校を卒業していないなどで、大学等の受験資格がない方に高等学校卒業者と同等以上の学力があるかどうかを文部科学省が認定する試験。

合格者には、日本国内の大学・短大・専門学校の受験資格を付与。また、高等学校卒業者と同等の学力がある者として認定され、就職・資格試験等に活用可。高等学校に在学中の場合、各学校長の判断によるが高等学校の単位として認められる。

多くの方々がチャレンジしやすくなるよう、県では文部科学省と連携して、県内会場を設置。

平成30年度第2回高卒認定試験スケジュール

受験案内・願書配布	7月20日(金)～
願書受付	8月30日(木)～9月13日(木)
試験日	11月10日(土)・11日(日)
試験会場	静岡県職員会館(静岡市)
合格通知	12月6日(木)発送予定



問 社会教育課 ☎054(221)3305,3163

静岡県版幼小接続モデルカリキュラム(試案) 「じぶんでできた! いっしょにやろう!!」 ～連続性・一貫性のある幼小接続カリキュラムを目指して～

「幼小接続モデルカリキュラム」とは?

新しい小学校学習指導要領では、総則の中に、新たに「学校段階等間の接続」が規定され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫について示されています。また、幼稚園教育要領等でも幼児教育と小学校教育の円滑な接続の重要性が示されています。幼稚園や保育所、認定こども園等で育まれた力を小学校においても発揮し、さらに伸ばしていくためには、幼児教育施設は小学校を見通した保育を行い、小学校は幼稚園等で育まれた子どもたちの力を上手に生かしていくことが大切です。

このことを受け、静岡県教育委員会では、保育者と小学校の教員が、幼児期から児童期における発達の流れを理解し、子どもの成長に即した5歳児後半から1年生1学期までを見通したカリキュラムを作成・実施していくための手引きとして、「幼小接続モデルカリキュラム」を作成しています。「静岡県就学前教育情報発信サイト「わっ!」」に試案を掲載しています。ぜひご活用をお願いします。

主な内容は?

ダウンロードは
こちらから

静岡県就学前教育情報発信サイト「わっ!」
<https://sites.google.com/a/neg.edu.pref.shizuoka.jp/youji/>



【義務教育課幼児教育推進室】

夏休みLINE相談 はじまります

本県の自殺者数全体が減少傾向にある中、全体に占める若年層の割合が増えており、将来ある若者の自殺対策は重要な課題となっています。

夏休み等の長期休暇明けには自殺者が増えるといわれているため、夏休み明け前に、若者が日常利用しているLINEでの相談を実施します。

「新学期が始まるのが怖い」「身近な人に相談しにくい」「一人では解決できない」…。そんな時、自分の気持ちを話せる相談窓口があります。

相談日時

8月20日(月)～24日(金)、27日(月)～31日(金)
受付時間 / 15:00～21:00

LINEアプリの「その他」→「友だち追加」から「QRコード」又は「ID検索」で友だちを追加して相談メッセージを送信してください。相談は無料です。

【ID検索 @shizusoudan】



【静岡県健康福祉部障害福祉課】

実践NOTE401 「つながり合つて学ぶ作業学習」

「コミュニティガーデンを通じた共生・共育」

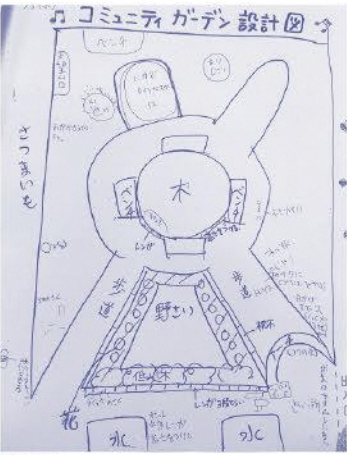
沼津特別支援学校伊豆田方分校 教諭 小松真理



筆者

はじめに

本校は静岡県内で唯一農業高校の校内に併設している知的障害高等部の特別支援学校です。「共生・共育」を目指す本校は、地域とのつながりを重視した学習を展開しています。コミュニティガーデンづくりは、作業学習において園芸班の生徒が中心となり、田方農業高校と協力して取り組んだ活動です。平成27年度から3年計画で完成を目指したコミュニティガーデンづくりについて紹介します。



設計図



コミュニティガーデンの看板を設置

花壇づくりをしたりしたい」「地域の方々と集い憩える場になりたい」という生徒たちの思いからコミュニティガーデンづくりが始まりました。

① 地域とつながる

園芸班では、野菜の栽培、花壇づくり、交流を柱として作業学習を行ってきました。地域の幼稚園や保育園、小中学校、田方農業高校との交流活動として、交流先へ出向いて寄せ植えをしたり、近隣の郵便局や老人福祉施設へ寄せ植えの花を届けたりして行っていました。そうし



円形歩道づくり

た中で、「分校の圃場で一緒に寄せ植えをしたり、大きなプロジェクトとなりました。夏には気温が30度を超える日も多く、冬には指先が冷えてかじかむような環境の中で、作業は困難を極めました。それでも、生徒たちは互いに励まし合い、協力し合っ

② 仲間と共につくる

一口にガーデンづくりと言っても、ガーデンのデザイン、測量、円形歩道とそこから延びる歩道づくり、花壇やポタジェ(花と野菜が混在する庭)づくりと、作業が多岐に渡り、

開催することになりました。計画立案から準備、招待状作成、運営までを園芸班の生徒たちが主体となつて進めていきました。お披露目会当日には、地域の保育園、小中学校、田方農業高校ライフデザイン科、田方分校と総勢200人以上の方々が参加してくださいました。「素敵なガーデンになりましたね」「また、お花を見に来ます」と声を掛けられると、生徒たちの表情は達成感や満足感に満ちあふれ、誇らしげに見えました。笑顔の絶えない忘れられない日となりました。



お披露目会

おわりに

コミュニティガーデンづくりを通して、さまざまな経験から自己肯定感を身に付け、成功体験を積み重ねていくことで、自分からチャレンジする姿が多くなる場面が見られるようになりま

③ 自分たちから発信する

平成30年2月、ガーデン完成！地域の方々にガーデン完成をお知らせするために、お披露目会を

実践NOTE402 「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」

「小中高のつながりを意識して」

東伊豆町立稲取中学校 教諭 和泉雄介



授業中の筆者

平成28年度の取り組み

各学校共に、どのような研修を進めていくか模索しながら、授業実践を行っていき

平成29年度の取り組み

本事業のもう一つの目的として、児童生徒の学びの連続性を意識し、地区オリジナルの小中高を貫くCAN-DORIST

成果と課題

小学校では、子どもが言いたい、聞きたいという思いがあふれる活動が多く、担任とALTの役割が明確になっていきま

昨年度までの2年間、外部専門機関である大と連携し、小中高等学校とのつながりを意識しながら教員の英語指導力向上を目指して研修を行ってきました。その中で実践してきたことを紹介

地区の特性を生かす

稲取地区内には、幼稚園、小学校、中学校、高等学校があり、この事業が始まる以前から、それぞれが連携しながら地区の子どもを育てていく基盤がありま



常葉大学 柴田先生による講義



稲取地区、共通テーマの決定



ALTの先生とやりとりする生徒

では、相互の授業参観を把握する。高等学校では、生徒への英語学習への動機付けの工夫を行うことを中心に取り組みました。校種間の壁を越えて、お互いの授業を見合い、話し合いを積み重ねていくうちに、先生方の意識も変わり、授業内容が徐々に改善していきました。

小学校では、子どもが言いたい、聞きたいという思いがあふれる活動が多く、担任とALTの役割が明確になっていきま

小学校では、子どもが言いたい、聞きたいという思いがあふれる活動が多く、担任とALTの役割が明確になっていきま

4つのケア

セルフケア

教職員自身がストレスや心の健康づくりに関して正しく理解し、ストレスへの気づきや適切な対処を行うこと。管理監督者自身も一人の教職員としてセルフケアが必要である。

ラインケア

管理監督者が、教職員と日常的に接する中で、職場のストレス要因を把握し、職場環境の改善や教職員からの相談対応、職場復帰における支援等を行うこと。

産業保健スタッフ等によるケア

産業医や保健師、心理職等が、職場のメンタルヘルス対策の推進をすするとともに、セルフケア及びラインケアへの支援を行う。

外部専門機関によるケア

医療機関や相談機関等、外部の専門家の助言やサービスを活用すること。

3つの予防

- 一次予防…心の健康の保持増進と不調の未然防止
- 二次予防…メンタルヘルス不調の早期発見・早期対応
- 三次予防…円滑な職場復帰と再発防止

【福利課】

外国語教育のさらなる充実に向けて～小中高の連携強化～

藤枝市と東伊豆町における昨年度までの2年間の研究を踏まえ、平成30・31年度の2年間、富士宮市と森町の小・中・高等学校が「静岡県英語指導力向上事業研修協力校」として、それぞれタッグを組み、静岡県ならではの外国語教育の一層の充実のため研究を進めていきます!

富士宮地区

富丘小学校・富士宮第四中学校・富士宮西高等学校

お互いに相手を意識してやり取りすることは大切だね。



違いを受け止めたり、共感したりする態度を育てたいね。

『聴いて受け止め 伝え合いを楽しむ宮っ子』

富丘小学校
平成30年11月28日(水)

〈小・中学校外部講師〉
大阪成蹊大学 准教授 赤沢 真世 氏

富士宮第四中学校
平成30年12月12日(水)

〈高等学校外部講師〉
敬愛大学 教授 向後 秀明 氏

富士宮西高等学校
平成30年11月14日(水)
平成31年 2月 4日(月)



森地区

宮園小学校・飯田小学校・旭が丘中学校・遠江総合高等学校

必然性のあるコミュニケーション活動を設定していくことって、難しいけど大切だね。



友だちとの関わり合いの中で自己表現できるようにしていきたいね。

『英語でのコミュニケーションを通し、楽しみながら人と関わり、伝え合える森町っ子』

宮園小学校
平成30年12月10日(月)
(※飯田小学校はH31に実施予定)



旭が丘中学校
平成30年11月26日(月)

〈小・中学校外部講師〉
常葉大学 准教授 柴田 里実 氏

遠江総合高等学校
平成30年11月12日(月)
平成31年 2月18日(月)

〈高等学校外部講師〉
静岡大学 名誉教授 三浦 孝 氏

目指す子ども像を共有し
共通テーマを設定

公開授業研修会で
取り組み状況を報告

各校種において、新しい学習指導要領を見据えつつ、背伸びをしすぎずに、今、できることに取り組みます。自校の取り組みの参考となる公開授業研修会への参加をお待ちしています。(会場の都合上、参加人数に制限を設ける場合もあります。)詳しくは、9月中旬に各学校に配布される案内通知をご覧ください。

【義務教育課】

摂食障害を知ろう



摂食障害は、体型への過剰なこだわりを持ち、心理的要因や社会的要因などを原因とした食行動の障害で、食事を取りたがらない「拒食症」と、極端に大量の食べ物を取る「過食症」があります。また、生涯のうち女性の約10人に1人、男性の約100人に1人がかかる頻度の高い疾患であり、青年期は、摂食障害が発症することが最も多い時期です。また、学童期から発症する場合も少なくありません。

この病気の特徴として、病気についての知識不足や恥ずかしさなどから受診が遅れがちとなり、周囲も気づきにくい点があります。早期に治療を始めた方が回復しやすいのですが、受診が遅れると回復が長期化、一部慢性化する可能性もある病気です。

そのため、早期に病気を発見し、相談や受診につなげることが大切となります。

《摂食障害早期発見のためのサイン》(抜粋)

- 食べる量が減る。
- 急激に体重が減少する。
- カロリーの低い食品(野菜、海藻など)を中心に食べる一方で、特定の食べ物(炭水化物、揚げ物、肉類、甘いものなど)を拒否する。
- 1日に何回も体重計に乗る。
- 食べていないのに「食べている」「お腹がすいていない」と言う。
- 食べ物がゴミ箱などに捨ててある。
- 食べだすと止まらない。
- 食事の後にしよっちゅうトイレに行く。

摂食障害情報ポータルサイト www.edportal.jp/about_02.html

摂食障害は治療や支援によって治すことができる病気です。治療や支援の方法、静岡県で治療を行っている医療機関について、お問い合わせください。

「静岡県摂食障害フォーラム」を開催します

日時:平成30年8月18日(土)13:30~15:30
場所:プラサヴェルデ 401会議室(沼津市大手町1-1-4)
参加は無料ですが、事前に静岡県摂食障害治療支援センターにお申し込みください。

問 静岡県摂食障害治療支援センター ☎053(435)2635



ふじさんっこ応援隊に参加しよう!!

「ふじさんっこ応援隊」は、社会全体で子育てを応援していることを、多くの子育て中の方々に感じてもらうことを目的に結成され、現在1,300以上の団体、企業、個人の方等が参加しています。その活動は、登下校時の見守り、子ども食堂の運営などさまざまです。

参加すると、「ふじさんっこ子育てナビ」(静岡県の子育て関係情報のポータルサイト)で情報発信(掲載)ができます!事務局へ提供いただいた子育て関連情報は、応援隊の参加者にメールで発信します。

また、ホームページ上から、ふじさんっこ応援隊参加団体をカテゴリ別・地域別に選択し検索することもできます。子どもを対象とした職場見学や職業体験の実施、子育て支援に関する講師等の協力など、学校やPTA等との活動上のパートナーが見つかるかもしれません。

学校単位、部活動単位、個人でも参加できますので、ふじさんっこ応援隊に参加して未来を担う子どもと子育て中の方々に応援してください。入会金、年会費、負担金などは一切ありません。

- 参加条件 静岡県内で子育てを応援する団体、企業、学校や個人など
- お願い 登録ステッカー、ポスターを施設に掲示してください。(可能な範囲で結構です。)

ふじさんっこ応援隊の参加団体が相互理解を深め、協力・連携関係を強化していくこと、子育て中の方々が、社会全体で子ども・子育てを応援していることを感じられることを目的に、ふじさんっこ応援フェスタを開催しています。

ふじさんっこ応援隊への参加登録はWEBから!!
ふじさんっこ応援隊

平成29年度のふじさんっこ応援フェスタの様子



第6回 ふじさんっこ応援フェスタ開催!

子ども・子育てを応援する
ふじさんっこ応援隊のブースが集結。
日時 平成30年11月15日(木)
10:00~16:00(開場9:45)
会場 アクトシティ浜松 展示イベントホール
入場料 無料

問 ふじさんっこ応援隊事務局(静岡県健康福祉部こども未来課)
☎054(221)3546 Eメール kodomo-m@pref.shizuoka.lg.jp

総合教育センター
ふすなろ Angle

教育課題解決のためにセンター研究の活用を!

【専門支援部研修課】

平成29年度に総合教育センター研修課が行った、高等学校の初任者及び中堅教諭の意識調査とその分析について紹介します。
初任者は「タイムマネジメント」が課題、中堅教諭は「授業改善」に意欲的なことが分かりました。初任者の成長を促し、中堅教諭のさらなる指導力向上を支援するために、教員が日常的に声を掛け合い、互いに高め合う職場づくりが求められています。

課題意識

初任者

タイムマネジメント
生徒との関わり方
生徒指導
授業準備の内容・方法

中堅教諭

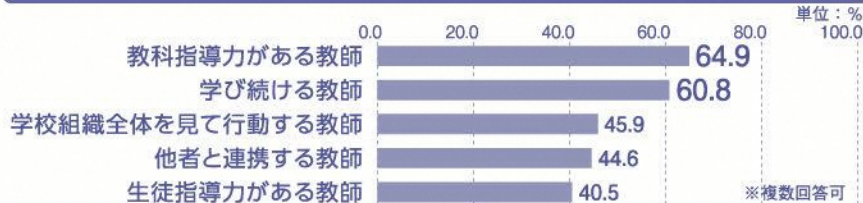
授業改善
進路指導の充実
教科指導力向上

初任者は、授業の準備の内容や時間確保に強い課題意識を抱えていることが分かりました。初任者の教科指導力向上のためには、その下支えとなる「タイムマネジメント」の力量向上も必要です。

中堅教諭は、授業改善を強く意識し、教科指導力を向上させることに意欲的であることが分かりました。(右図参照)

教育課題の解決のために、センターの研究を活用しましょう。研究成果はホームページからご覧ください。
センターは「学び続ける教職員とこれからの学校」を応援します!!

中堅教諭「目指す教師像」



中堅教諭は教科指導力の向上を重視し、授業を通して生徒を育成しようという意識がみられました。また、学び続けることで資質能力の向上を目指す中堅教諭の意欲が感じ取れます。

静岡県総合教育センター

検索

青少年にとっての優良推奨図書のご案内

県では、『静岡県青少年のための良好な環境整備に関する条例』に基づき、青少年の健全育成のために有益な図書・DVD・映画を推奨しています。今回、優良図書として3冊を推奨しました。ぜひ、積極的に手にとって子どもたちに紹介してください。

『もしも魔法が使えたら』

星野光世 / 著 講談社 1,600円



親を失った戦争孤児はどう生きたのか。子どもたちに伝えたい戦争の真実を綴ったノンフィクションです。
生命を尊重する心を育み、青少年の健全育成に役立つ作品として、中学生以上に推奨します。

『声の出ないぼくとマリさんの一週間』

松本聡美 / 著 汐文社 1,400円



ママのアメリカ出張中、ぼくはママの幼なじみの「マリさん」と一週間を過ごすこととなりました。初めて出会ったマリさんは、不思議な人だった。
豊かな人間性を育み、社会生活に必要な良識を育む作品として、小学校高学年以上に推奨します。

『こぶたのピクルス』

小風さち / 文 夏目ちさ / 絵
福音館書店 1,600円



ピクルスは元気なこぶたの男の子。楽しい「ピクルスと卵」のお話をはじめ、「ピクルスのわすれ物」など、全部で4つのお話が入っています。
豊かな人間性を育み、家族を愛する心を育む作品として、幼児以上に推奨します。

★ これまでの「優良推奨図書類」についてはこちらからどうぞ ★



【社会教育課】

学び続ける教員へ ~参加者募集中~

※申込方法は、
下記問い合わせ先までご連絡

大人のたしなみセミナー

県立中央図書館では、公益財団法人日本城郭協会理事の加藤理文氏を講師にお招きし、「豊臣秀吉の城~豪華絢爛な数々の城の姿~」というテーマの講演会を開催します。

- 募集期間 定員になり次第受付終了。
- 実施日 平成30年9月2日(日) 午後2時~3時30分
- 会場 県立中央図書館 2階講堂
- 定員 200人(先着順、要事前申込)
- 費用 無料
- 問い合わせ先 静岡県立中央図書館企画振興課 ☎054(262)1246

高校教員ための"けんせつの仕事"勉強会

県内高校教員を対象に、建設業に対する理解を深め、高校生への進路指導等に役立てていただくための勉強会を今年度も開催します。今回は建設企業経営者や若手技術者による講話や建設業におけるICTの活用に関する実習を行います。

- 募集期間 平成30年8月13日(月)まで
- 実施日 平成30年8月27日(月) 午前10時25分~午後3時30分
- 会場 全国建設産業教育訓練協会富士教育訓練センター(富士宮市根原)
※静岡県庁からの貸切バス(8時45分出発)が利用可能です。
- 定員 静岡県内高校教員25人程度(専門高校教員、普通高校教員問わず参加可)
- 費用 無料(現地集合の場合の交通費、昼食代は各自負担)
- 問い合わせ先 静岡県交通基盤部建設業課 ☎054(221)3057 ㊚054(221)3562
Eメール kensetsugyou@pref.shizuoka.lg.jp

第25回

エンチョー DIY グランプリ

作品募集

ほしい!をカタチに
つなぐ、ひろがるDIY!

- DIY一般部門** 対象:一般(年齢性別不問)
 - ①エクステリア賞 ②キッチン・サニタリー賞
 - ③インテリア賞 ④ECO・リメイク賞 ⑤匠賞
 - DIY学生・ジュニア部門** 対象:18歳以下(性別不問)
 - ①高校生・中学生クラス 13歳以上
 - ②小学生・未就学児童クラス 12歳以下
- ※各部門内容は一般部門と同じ。年齢によるクラス分けになります。



Instagramで
作品を作っているシーンや
DIYを楽しんでいるシーンを
ハッシュタグ#エンチョーDIYGP2018を
付けて投稿してください!
エンチョーDIYグランプリ公式アカウント
@encho.diy
まずは
フォローしてね!

2019年2月下旬予定

エンチョーDIY祭り内にて
作品展示会・表彰式開催予定!!
会場:ふじさんめっせ

応募期間 2018年7/1日~10/31日

主催/株式会社エンチョー 後援/静岡県、静岡県教育委員会、社会福祉法人静岡県社会福祉協議会、静岡新聞社、静岡放送、テレビ静岡、あさひテレビ、静岡第一テレビ、K-mix、日宣(順不同)

エンチョー 夢をカタチに 創るよるこび
https://www.encho.co.jp/

エンチョー

検索